

駒澤大學禪研究所規程

(一九八九年四月一日制定)

(設置)

第一条 駒澤大學に、駒澤大學禪研究所（以下「研究所」という。）設置する。

(目的)

第二条 研究所は、建学の精神に基づき、禅に関する総合的研究を行い、もって文化の向上に資することを目的とする。

(事業)

第三条 前条の目的を達成するため、研究所は、研究部と研修部を設け、各々において次の事業を行う。

(1) 研究部の事業

ア 研究会及び講演会の開催

イ 図書及び研究紀要の刊行

ウ 研究図書資料の収集

エ 国内外の同種の研究団体及び学際的諸機関等との提携並びに学会等の開催

オ 日曜講座の開催

カ その他研究所の目的を達成するために必要な事業

(2) 研修部の事業

ア 禅に関する研修会
イ 研究部の諸事業に対する協力
ウ その他研究所の目的を達成するための必要な事業

(職員)

第四条 研究所には、次の職員を置く。

第五条 所長 一人

副所長 若干人

2 所長、副所長及び所員は、本学専任教員の中から学長がこれを委嘱し、そ

の任期は二年とする。ただし、重任を妨げない。

第六条 所長は、研究所を代表し、研究所を総括する。

(所長及び副所長)

第七条 所長は、研究部を代表し、研究所を総括する。

(幹事)

第八条 所長は、所長の職務を補佐する。

(幹事)

第九条 研究所には、研究員及び研修員を置くことができる。

第十条 研究員は、運営委員会によつて決定さ

れた研究計画に基づく研究に参加を希望す

る。研究員は、運営委員会によって決定さ

れた研究計画に基づく研究に参加を希望す

(顧問)

(運営費)

置く。

2 顧問のうち一人は、駒澤大學総長とする。

3 前項以外の顧問は、所長が推薦し、学長がこれを委嘱する。

(運営委員会)

第八条 研究所には、運営に関するすべての事項を審議し決定するため、運営委員会を置く。

第九条 研究所には、研究員及び研修員を置く。

第十条 研究員は、運営委員会によつて決定さ

れた研究計画に基づく研究に参加を希望す

る。研究員は、運営委員会によって決定さ

れた研究計画に基づく研究に参加を希望す

る。研究員は、運営委員会によって決定さ

れた研究計画に基づく研究に参加を希望す

る。研究員は、運営委員会によって決定さ

れた研究計画に基づく研究に参加を希望す

る。研究員は、運営委員会によって決定さ

れた研究計画に基づく研究に参加を希望す

る。研究員は、運営委員会によって決定さ

れた研究計画に基づく研究に参加を希望す

る。研究員は、運営委員会によって決定さ

第一〇条 研究所の運営費は、駒澤大学の年間予算、寄付金その他をもつて充てる。

(規程の改廃)

第一一条 この規程の改廃は、運営委員会の議を経て、大学の承認を得なければならない。

附 則

1 ノの規程は、平成元年四月一日から施行する。

2 駒澤大学禪研究所を外国语で表示する場合は、Zen Institute, Komazawa University ルナハ。

3 ノの規程施行の際、従前の禪研究所規則（昭和四三年一二月二日制定）は、廢止する。

執筆者紹介

村井章介	東京大学 文学部 教授
林田康順	大正大学 人間学部 講師
池田魯参	駒澤大学 仏教学部 教授
岡本一平	駒澤大学 大学院 博士課程
山内舜雄	駒澤大学 名誉教授
飯塚大展	駒澤大学 仏教学部 講師
本多寛尚	駒澤大学 大学院 研究生
道津綾乃	駒澤大学 大学院 博士課程
石井清純	駒澤大学 仏教学部 助教授
松本史朗	駒澤大学 仏教学部 教授

▽『駒澤大学禪研究所年報』第一〇号をお届けします。本号には、一九九八年一〇月の当研究所主催公開講演会に東京大学文学部教授の村井章介先生に「室町時代の日朝交渉と禪僧の役割」と題して御講演いただいた記録をもとに、先生御自身に御添削を頂いた原稿を掲載致しました。

▽また今回は当研究所における独自のテーマとして「特集・道元入宋時代の宗教と社会と文化」の第三回目の成果を特集号にまとめることができました。林田康順・池田魯参・岡本一平の各先生より宋代の浄土教・天台宗・律宗の消息を論じていただきました。そのほか合わせて六編（内二名は英文）の論文を掲載することができ、御執筆いただいた先生方には心より感謝申し上げる次第です。

▽当研究所は一九八九年四月あたかも平成の年号とともに再発足し、ようやく一〇年の歳月を迎えることができました。

この間の道程は必ずしも平坦なものではなく、多くの紆余曲折を経て来たのも事実です。再発足以来、所長を務めてこられた鈴木格禅・元所長のもとで、石井修道・故石川力山の両先生が献身的な努力を払つております。

▽このたび当研究所では、田中良昭先生が駒澤大学図書館長に就任されたため、一年限りで所長職を退かれ、代わって田上太秀先生が新所長に選出され、副所長に石井修道先生、幹事に石井清純先生がそれぞれ就かれました。新体制での出発となりましたので、よろしくお願ひ致します。

▽英文タイトルは、UCLAからの在外研究員のマリオ・ポセスキーフ氏に依頼しました。

▽お陰を持ちまして、『禪研究所年報』も第一〇号を数えることができ、一つの節目を迎えたと思います。それも偏に多くの会員の皆さまや当研究所の趣旨に賛同される方々の暖かい支援に支えられて現今があるのだと肝に銘じております。ですが、当研究所ならびに『禪研究所年報』が皆さまの御支援を得てさらに充実していくことを願つて止みません。
(佐藤秀孝記)

駒澤大學禪研究所年報

第十號

一九九九年三月三十日 印刷
一九九九年三月三十一日 発行

発行者

駒澤大學禪研究所

東京都世田谷区駒沢一丁目三番一号

電話 03(3426)9304(所長室)

代表者 田 上 太 秀

印刷所 中 台 整 版

東京都千代田区飯田橋二一一一二

電話 03(33264)8966